



学校だより (12)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

ちがいを豊かに

校長 福原輝幸

「みんな同じ人間だけど、一人一人ちがうんだ。一人一人ちがうから、助け合うことが出来るし、助け合うことが必要なんだ」と話しています。

何もちがうのは、日本人と外国人のちがいだけではありません。同じ日本人でも、一人一人みんなちがうのです。

顔形、皮膚の色、目の色などから、ちがいが一目でわかる外国人は、ちがいを認めやすいのです。

しかし、自分と似ている人とのかかわりでトラブルを起こしやすいのは、無意識のうちに関わり合いになぜ?の気持ちが働くからでしょうか。

これまでの日本社会の同質性が、マイナス的要素として指摘されるのです。

「みんなとちがったことをするといじめられるからと、自分の意に反して、周りに合わせてきた」ことは、よく聞く話であり、学校生活も例外ではなく、ましてや外国で多くの日本人が暮らしているところでは、横並び主義は日本人の心の隅々にまで染み渡っています。

「ちがうことを豊かに」は、日本人・外国人というくくりではなく、一人一人の日本人もみんなちがうんだ。そのちがいを豊かに受け止めよう、互いに認め合おうという意味です。

言うまでもなく、子どもたちは、一人一人みんなちがうし、教職員も一人一人みんなちがうのです。保護者の方も一人一人みんなちがうのです。

みんなちがってみんないいのです。

その中で、より高いステージを目指すために、ちがいをより豊かにするために、質の高い折り合いをつけることが、今、問われています。

生きるよろこびのうた

また 教室 (きょうしつ) に朝がきて
おはよう おはよう
なじみの顔が 集 (あつ) まってくる
わいわい わいわい
朝のすずめが さえずるように
たのしい ひととき
むやみやたらに 肩 (かた) をつついて
今日も なかまであることを
確 (たし) かめあって いるのです。

また 教室に日が昇 (のぼ) る
おはよう おはよう
今日という日は もう二度とない
がやがや がやがや
風に木の葉が ざわめくように
生きる よろこび
声をはりあげ 追 (お) いかけまわり
みんな なかまであることを
確 (たし) かめあって いるのです。

(蒔田 眞治)

(裏に続く)